

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	コミュニティ助成事業補助金				2 担当課名	市民課							
3 予算科目	款	2	項	1	目	11	事業コード	0235					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H16以前	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市コミュニティ助成事業補助金交付要綱								
6 性質別分類①	c (市の上乗せなし) 国・県の制度との連動				7 性質別分類②	b 事業費補助							
8 交付先分類	a 区・自治会 (自主防災会含)												
9 交付先	申請があり県(財団)の交付決定があった区・自治会												
10 補助金の目的	コミュニティ活動に必要な備品等の整備などにより、その活動の促進を図り、地域社会の健全な発展に寄与する												
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	地域コミュニティ活動の充実・強化												
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	コミュニティ活動に必要な備品等の整備など												
13 積算根拠の有無	無												
14 積算の考え方 計算式	見積書等の添付による												
15 補助対象経費の設定の有無	有												
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目	備品、整備費												
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足										
団体													
人数													
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26 年度	27 年度	28 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0	10/10 県(財団)補助事業(上限あり)									
その他補助金	4,500	2,400	2,400										
一般財源	0	0	0										
合計	4,500	2,400	2,400										
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足										
補助金 助成金	市	0	0	実績報告等に対象団体の決算書の添付の必要がないため不明です									
	その他	0	0										
事業収入	0	0											
会費	0	0											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	0	0											
市の補助金の割合													

補助金名称	コミュニティ助成事業補助金	担当課名	市民課
-------	---------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	自治会活動で使用する備品等への助成であり、かつ、県補助事業のため
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	希薄化していない
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	ニーズ高
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	県からの助成対象は市のため関与する必要があります
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	自治会から県(財団)への直接的な申請はできない
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	県(財団)の行う全額補助事業であるため
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	補助金要綱の設定のとおり
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	△	県(財団)の交付決定であるため不明
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	△	交付決定は県(財団)のため不明

補助金名称	コミュニティ助成事業補助金	担当課名	市民課
-------	---------------	------	-----

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	県(財団)の補助事業であるため。なお、対象は単年度。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	見積もりによる
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	補助要綱による
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	含まれていません
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	全額県(財団)補助(上限あり)
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	なし
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	なし
⑩履行確認は、適切にできているか	○	県への実績報告により確認できています

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	地域コミュニティ活動の充実・強化
2達成状況	自治会活動に寄与しています

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	自治会活動に必要な備品であるため

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	全額県(財団)補助事業のため	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	猫の去勢不妊手術補助金				2担当課名	生活環境課	
3予算科目	款	4	項	1	目	4	事業コード 0421
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無				
	開始	H14	年度	～	終期(予定)	—	年度 (終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市猫の去勢・不妊手術補助金交付要綱					
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	b事業費補助		
8交付先分類	d不特定団体及び個人						
9交付先	不特定団体及び個人						
10補助金の目的	猫を適正に飼養し、飼い主のいない猫の増加を防止することで、猫に起因する糞害や鳴き声等の問題の解決をはかり、快適な生活環境をつくる。						
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	猫に起因する糞害や鳴き声等の問題を解決して、快適な生活環境をつくる。 (猫死骸回収数の減少)						
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	猫の去勢・不妊手術						

13積算根拠の有無	有						
14積算の考え方 計算式	去勢・不妊手術補助 雄5千円、雌1万円 (限度額)						
15補助対象経費の設定の有無	無						
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費 積立金
その他補助対象の項目							

17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足
団体	—	—	
人数	—	—	

18市の補助金の財源	決算		予算	(千円)
	26 年度	27 年度	28 年度	
国・県支出金	0	0	0	補足
その他補助金	0	0	0	
一般財源	2,135	2,150	2,000	
合計	2,135	2,150	2,000	

19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足
補助金	0	0	
助成金	0	0	
市	0	0	
その他	0	0	
事業収入	0	0	
会費	0	0	
繰越金	0	0	
その他	0	0	
合計	0	0	
市の補助金の割合	0	0	

補助金名称	猫の去勢不妊手術補助金	担当課名	生活環境課
-------	-------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H24	年度
3内容	補助対象を犬・猫から猫に変更				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	猫の去勢不妊手術補助金	担当課名	生活環境課
-------	-------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	快適な生活環境が実現するまで、当分の間、事業を継続する必要がある。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	猫に起因する糞害や鳴き声等の問題を解決して、快適な生活環境をつくる。 (猫死骸回収数の減少)
2達成状況	猫死骸回収数 H26:137、H27:90

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	死骸処理数が減少している。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	補助金の申請件数が多数あるとともに、飼い主のいない猫の相談が寄せられている。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	新エネルギー機器設置事業補助金				2担当課名	生活環境課			
3予算科目	款	2	項	7	目	2	事業コード	0285	
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H13年度	～ 終期(予定)	— 年度
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市新エネルギー機器設置事業補助金交付要綱				
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	b事業費補助			
8交付先分類	d不特定団体及び個人								
9交付先	不特定団体及び個人								
10補助金の目的	新エネルギーの利用促進と防災及び減災対策の推進を図る。								
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	地球温暖化対策の推進(温室効果ガス排出量削減) ※第2次裾野市環境基本計画より ・住宅用太陽光発電設置補助件数 普及率(補助設置数/一戸建住戸数) H32年14.0%、H37年18.0% ・燃料電池システム延べ補助件数 H32年205台、H37年355台								
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	新エネルギー機器設置								
13積算根拠の有無	有								
14積算の考え方 計算式	太陽光発電システム (住宅用)5万円/件(事業者用)1kw当り3万円、限度額20万円/件 太陽熱高度利用システム3万円/件 蓄電池システム10万円/台 電気自動車等充電器5万円/台 家庭用エネルギー管理システム(HEMS)1万円/台 家庭用燃料電池システム(エネファーム)10万円/台 対象機器3つ以上組合せ新設;3万円/件								
15補助対象経費の設定の有無	無								
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金	
その他補助対象の項目									
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足						
団体	—	—							
人数	—	—							
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)				
	26年度	27年度	28年度	補足					
国・県支出金	0	0	0						
その他補助金	0	0	0						
一般財源	19,468	13,716	19,650						
合計	19,468	13,716	19,650						
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足						
補助金	0	0							
助成金	0	0							
事業収入	0	0							
会費	0	0							
繰越金	0	0							
その他	0	0							
合計	0	0							
市の補助金の割合	0	0							

補助金名称	新エネルギー機器設置事業補助金	担当課名	生活環境課
-------	-----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	補助対象機器の補助金額の削減 太陽光発電システム(住宅用)7.5万円/件→5万円/件 家庭用エネルギー管理システム(HEMS)5万円/件→1万円/件				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	新エネルギー機器設置事業補助金	担当課名	生活環境課
-------	-----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	施策事業(環境基本計画における取組事項)であり、事業の継続が必要。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	地球温暖化対策の推進(温室効果ガス排出量削減) ※第2次裾野市環境基本計画より ・住宅用太陽光発電設置補助件数 普及率(補助設置数/一戸建住戸数) H32年14.0%、H37年18.0% ・燃料電池システム延べ補助件数 H32年205台、H37年355台
2達成状況	H27年 住宅用太陽光発電設置補助件数、普及率 8.4% 燃料電池システム延べ補助件数25台
3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	新エネルギー機器の設置件数が伸びている。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	新たなエネルギー機器の出現や機器の性能の変化による、最適な対象機器の選定と補助金額の見直しが必要となる。
		見直しの時期	未定
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	生ごみ処理機器等設置補助金				2 担当課名	生活環境課	
3 予算科目	款	4	項	2	目	1	事業コード 0430
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無				
	開始	H4	年度	～	終期(予定)	—	年度 (終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市生ごみ処理機器等設置費補助金交付要綱					
6 性質別分類①	d 市単独助成			7 性質別分類②	b 事業費補助		
8 交付先分類	d 不特定団体及び個人						
9 交付先	不特定団体及び個人						
10 補助金の目的	裾野市内から排出される生ごみの自己処理を推進し、ごみの減量化及び資源化を図る。						
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	燃えるごみの減量化						
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	生ごみ処理機器設置者(個人、事業者)						

13 積算根拠の有無	有						
14 積算の考え方 計算式	堆肥化容器; 購入費の1/2限度額3千円 一般家庭用生ごみ処理機器; 購入費の1/2限度額2万円 事業系生ごみ処理機器購入費の1/3限度額100万円						
15 補助対象経費の設定の有無	無						
16 補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費 積立金
その他補助対象の項目							

17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足
団体	—	—	
人数	—	—	

18 市の補助金の財源	決算		予算	(千円)
	26 年度	27 年度	28 年度	
国・県支出金	0	0	0	補足
その他補助金	0	0	0	
一般財源	295	190	875	
合計	295	190	875	

19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足
補助金	0	0	
助成金	0	0	
市	0	0	
その他	0	0	
事業収入	0	0	
会費	0	0	
繰越金	0	0	
その他	0	0	
合計	0	0	
市の補助金の割合	0	0	

補助金名称	生ごみ処理機器等設置補助金	担当課名	生活環境課
-------	---------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27	年度
3内容	補助金の申請期限を購入日より3か月以内に設定				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	△	申請件数が減少傾向である。(堆肥化容器H22;19、H27;8、家庭用生ごみ処理機H22;14、H27;9)
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	△	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	生ごみ処理機器等設置補助金	担当課名	生活環境課
-------	---------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	一般廃棄物処理基本計画にて当補助金制度の活用によるごみ減量を施策とし、継続を示している。
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	燃えるごみの減量化
2達成状況	燃えるごみ収集量全体 H22年度実績14,917t、H27年度実績14,480t ※生ごみ処理機器での減量数量なし。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	生ごみ処理機器補助による減量の量が把握できていないが、家庭系ごみの減量は全体で減量となっている。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	dその他		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	H28年度に実施する一般廃棄物処理基本計画(見直し)の策定に合わせ、廃止も含めて検討が必要。
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28年度

1補助金名称	裾野市浄化槽設置整備事業補助金			2担当課名	上下水道課								
3予算科目	款	4	項	2	目	3	事業コード	0440					
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H2	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱								
6性質別分類①	b(市の上乗せあり)国・県の制度との連動			7性質別分類②	b事業費補助								
8交付先分類	d不特定団体及び個人												
9交付先	個人												
10補助金の目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁防止の為、浄化槽区域及び公共下水道計画区域内で公共下水道予定処理区域外における浄化槽設置者に対する設置に要する限度額内の補助。												
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する為、およそ70件程度の合併浄化槽設置者への補助金交付を見込む。												
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	合併浄化槽設置												
13積算根拠の有無	有												
14積算の考え方 計算式	設置補助金 5人槽 177千円 7人槽 204千円 10人槽 258千円 上乗せ 30千円												
15補助対象経費の設定の有無	無												
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金				
その他補助対象の項目													
17団体等の構成員数	26年度	27年度	補足										
団体	—	—											
人数	—	—											
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26年度	27年度	28年度	補足									
	国・県支出金	6,023	7,303	7,040									
	その他補助金	0	0	0									
	一般財源	7,009	4,787	8,791									
合計	13,032	12,090	15,831										
19団体・事業の財務内容	26年度	27年度	補足										
補助金	市	—	—										
助成金	その他	—	—										
事業収入	—	—											
会費	—	—											
繰越金	—	—											
その他	—	—											
合計	—	—											
市の補助金の割合	—	—											

補助金名称	裾野市浄化槽設置整備事業補助金	担当課名	上下水道課
-------	-----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H28.4	年度
3内容	定住人口促進施策により想定される補助申請の急増にも市単補助対象として対応できるよう補助金交付要綱を改正				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市浄化槽設置整備事業補助金	担当課名	上下水道課
-------	-----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する為、およそ70件程度の合併浄化槽設置者への補助金交付を見込む。
2達成状況	促進されつつある

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	概ね効果が出ているため

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	補助金要綱改正後の状況を確認していきたい。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	裾野市水洗便所改造資金融資あっ旋及び利子補給				2担当課名	上下水道課			
3予算科目	款	1	項	2	目	1	事業コード	5604	
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無						
	開始	H10	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)	
5根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市水洗便所改造資金融資あっ旋及び利子補給要綱						
6性質別分類①	d市単独助成				7性質別分類②	c利子補給補助			
8交付先分類	d不特定団体及び個人								
9交付先	個人								
10補助金の目的	下水道処理区域において、排水設備工事を実施する者に対し、資金の融資あっ旋及びその融資を行う金融機関への利子補給を行うことで、負担を軽減し、広く下水道への接続を推進させるため。								
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	下水道を実際に利用している指標である、水洗化率の向上が見込まれる。								
12補助対象者・団体等が補助金で行う活動	排水設備び設置工事								
13積算根拠の有無	有								
14積算の考え方 計算式	供用開始後6ヶ月以内の工事については、契約利子の全額を、6ヶ月を超え3年以内の工事については、契約利子の50%を金融機関に支払う。								
15補助対象経費の設定の有無	有								
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費		積立金
その他補助対象の項目	排水設備工事費								
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足						
団体	—	—							
人数	—	—							
	決算		予算		(千円)				
18市の補助金の財源	26 年度	27 年度	28 年度	補足					
国・県支出金	0	0	0						
その他補助金	0	0	0						
一般財源	2	0	20						
合計	2	0	20						
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足						
補助金	—	—							
助成金	—	—							
事業収入	—	—							
会費	—	—							
繰越金	—	—							
その他	—	—							
合計	—	—							
市の補助金の割合	—	—							

補助金名称	裾野市水洗便所改造成資金融資あっ旋及び利子補給	担当課名	上下水道課
-------	-------------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	△	現在要望は少ないが、今後下水道事業計画区域を変更した場合、対象となる場合が増える可能性もある。
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市水洗便所改造成資金融資あっ旋及び利子補給	担当課名	上下水道課
-------	-------------------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	下水道を実際に利用している指標である、水洗化率の向上が見込まれる。
2達成状況	向上してきている

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	水洗化率が向上しているため。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	補助金要綱改正後の状況を確認 していきたい。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1補助金名称	裾野市下水道施設整備事業補助金				2担当課名	上下水道課		
3予算科目	款	1	項	1	目	1	事業コード	5601
4現在考えている事業期間	終期設定の有無		無					
	開始	H25	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5根拠例規の有無	有	例規名称		裾野市下水道施設整備事業補助金交付要綱				
6性質別分類①	d市単独助成			7性質別分類②	b事業費補助			
8交付先分類	eその他							
9交付先	事業者							
10補助金の目的	下水道供用開始前の区域において、下水道施設を先行して整備する事業者に対し事業費の一部を補助することで、将来その区域の下水道供用開始の早期実現が可能となるため。							
11補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市で下水道を整備する必要が無くなり、整備予定を早めることが期待できる。							
12補助対象者・団体が補助金で行う活動	下水道施設の整備							
13積算根拠の有無	有							
14積算の考え方 計算式	要綱の別表で規定する下水道施設の整備に要する原材料費。							
15補助対象経費の設定の有無	有							
16補助対象経費の内容	交際費		慶弔費		飲食費		懇親会費	積立金
その他補助対象の項目	原材料費							
17団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足					
団体	—	—						
人数	—	—						
18市の補助金の財源	決算		予算		(千円)			
	26 年度	27 年度	28 年度	補足				
国・県支出金	0	0	0					
その他補助金	0	0	0					
一般財源	0	0	2,000					
合計	0	0	2,000					
19団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足					
補助金								
助成金	市	—						
	その他	—						
事業収入	—	—						
会費	—	—						
繰越金	—	—						
その他	—	—						
合計	—	—						
市の補助金の割合	—	—						

補助金名称	裾野市下水道施設整備事業補助金	担当課名	上下水道課
-------	-----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H26.2	年度
3内容	H26.2新規制定				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市下水道施設整備事業補助金	担当課名	上下水道課
-------	-----------------	------	-------

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待さ れる効果・目標 (アウトカム、アウトプ ット、具体的な数値等)	市で下水道を整備する必要が無くなり、整備予定を早めることが期待できる。
2達成状況	達成されつつある

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	補助対象箇所付近の整備が予定より早く完了見込みとなっているため。

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	補助金要綱改正後の状況を確認 していきたい。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の 内容	
廃止の時期			